

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展

埴輪

一本庄とその周辺地域における
埴輪の導入から終焉まで



2024 **10 | 12** SAT ▶ **12 | 22** SUN

会場 | 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
(早稲田大学93号館) 2階情報資料室

所在地 | 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011 開館時間 | 午前9時～午後4時30分

入館料 | 無料 休館日 | 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)

問合せ | TEL 0495-71-6878 FAX 0495-71-6879 ✉ hwmm@city.honjo.lg.jp



HP

本庄早稲田
MUSEUM
の杜
ミュージアム



ー本庄とその周辺地域における
埴輪の導入から終焉までー

埴輪

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展



本庄市とその周辺地域は、埼玉県内で最も早く埴輪を導入した地域として知られていますが、その後も埴輪をもつ古墳が数多く築かれ、また埴輪窯跡も数か所に所在するなど埴輪づくりがとても盛んな土地でした。今回の展示では、本庄市や周辺地域で出土した埴輪のなかから、とくに注目すべき資料を体系的に集成し、当地域での埴輪の出現から終焉までの姿を紹介します。

講演会

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
3階レクチャールーム1

令和6年11月30日(土) 13:30~15:00
「本庄・児玉地域における埴輪の導入と展開」

講師：日高 慎氏
(東京学芸大学教育学部教授)

最新の研究成果を踏まえ、本庄市出土の埴輪の特徴やその考古学的な意義について詳しくお話をいただきます。

講座

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
3階レクチャールーム1

令和6年11月16日(土) 13:30~15:00
「盾持人物埴輪の意義」

講師：青笹 基史氏
(埼玉県立さきたま史跡の博物館)

盾持人物埴輪の発生から埴輪がもつ固有の性格、時代ごとの変化について興味深いお話を伺います。

令和6年12月14日(土) 13:30~15:00
「東日本における馬形埴輪の出現と展開」

講師：齋藤 直樹氏
(藤岡市教育委員会文化財保護課)

生野山9号墳の馬形埴輪の評価とともに、馬形埴輪から判る古墳時代の馬の使われ方、馬が埴輪として造形されたことの意味などについて論じていただきます。

申込方法

講演会・講座共通

10月24日(木) 午前9時から電話、メールまたは
直接本庄早稲田の杜ミュージアムへ

本庄早稲田
の杜
ミュージアム
HONJO-MASUDA
NO MORI MUSEUM

会期 令和6年10月12日(土)~12月22日(日)
会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
(早稲田大学93号館) 2階情報資料室
所在地 埼玉県本庄市西富田1011
開館時間 午前9時~午後4時30分
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)
入館料 無料
アクセス 新幹線 JR 上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅南口から徒歩3分
電車 JR 高崎線 本庄駅南口からはにぼんシャトル(所要時間13分)バス停「本庄早稲田駅北口」下車 徒歩5分
または 本庄駅南口からタクシー10分
自動車 関越自動車道本庄児玉ICから5分 無料駐車場あり
問合せ TEL 0495-71-6878 FAX 0495-71-6879
E-mail hwm@city.honjo.lg.jp



HP

